



あおやましんめい い せき
青山神明遺跡
発掘だより 2号



令和6年2月9日発行

◆青山神明 23C 区の調査◆

23C 区は神明公園南西にある水田の中を令和5年10月から12月にかけて1205㎡の範囲で調査を行いました。23C 区では東側を23Ca 区、西側を23Cb 区に分けて調査しました。

◆23Ca 区 概要◆

23Ca 区では、中世の溝が3条、近世以後の溝が7条と中央に池が1基確認されました。遺物は中世以後の陶磁器が主体ですが、弥生時代後半の土器も出土しました。



青山神明遺跡 23C 区 位置図 (赤丸)

◆23Cb 区 概要◆

23Cb 区では23Ca 区でも確認された中世の溝の続きが1条、中世の溝が2条、近世以後の溝8条と道路が1条確認できました。溝は同じ位置に何度も繰り返し作り直されていた様子がありました。



青山神明遺跡 23C 区 全景 (西上)

編集



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
 HP <http://www.maibun.com>
 TEL : 0567-67-4163

調査支援

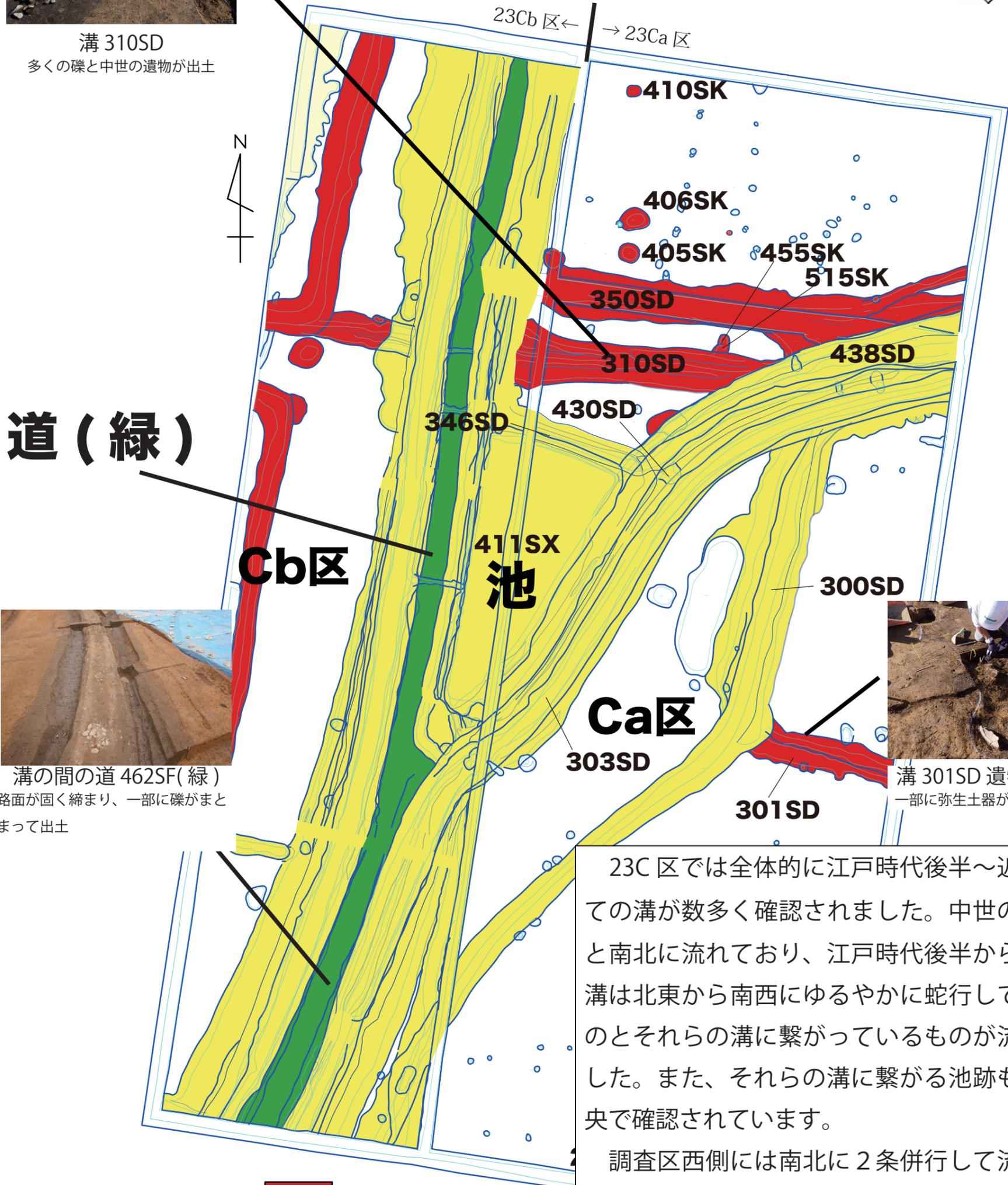
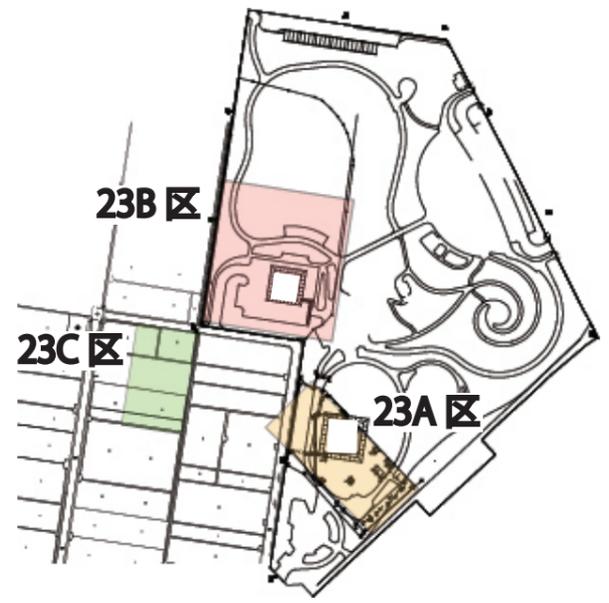


株式会社 アート
 愛知支店 〒462-0012
 愛知県名古屋市北区楠 1-1721
 TEL 090-6965-2991
 (現場代理人 坂本)

青山神明遺跡 23C 区 調査成果報告



溝 310SD
多くの礫と中世の遺物が出土



道 (緑)

Cb区

池

Ca区



溝の間の道 462SF (緑)
路面が固く締まり、一部に礫がまとまって出土



溝 301SD 遺物出土状況
一部に弥生土器がまとまって出土

23C 区では全体的に江戸時代後半～近代にかけての溝が数多く確認されました。中世の溝は東西と南北に流れており、江戸時代後半からの近代の溝は北東から南西にゆるやかに蛇行して流れるものとそれらの溝に繋がっているものが流れていました。また、それらの溝に繋がる池跡も調査区中央で確認されています。

調査区西側には南北に2条併行して流れる溝の間に道路が設けられ、その範囲内では多くの遺物が確認されました。豊場と小牧をつなぐ道になるものと推測されます。

- : 中世の遺構
- : 江戸時代～近代の遺構

0 5 10m

青山神明遺跡 23C 区 発掘調査写真



23Ca 区 重なる溝の断面
断面の形状の違いで、他の溝と区別する判断材料になります。



23C 区遠景 (南西より)
写真奥に航空館 boon が見えます。



土坑 410SK 遺物出土状況
灰釉陶器などの陶器片が確認されました。



23Ca 区 遺構検出風景
しっかり土を削り、色の違いをはっきりさせます。



溝 310SD の動物遺体出土状況
牛の歯と思われます。何かしらの祭祀の跡の可能性がります。



23Ca 区 遺構検出状況
複数の溝や池 (手前の三角形) が確認できます。



23Cb 区 木材出土状況
道路状遺構の下層より出土した、導水管の跡と考えられます。



23Cb 区 溝と道路の検出状況
色の違いや土質で溝の重なりと道を確認しました。

青山神明遺跡 23C 区 発掘調査写真



23C 区 遠景 (南西より)
写真奥に航空館 boon が見えます。



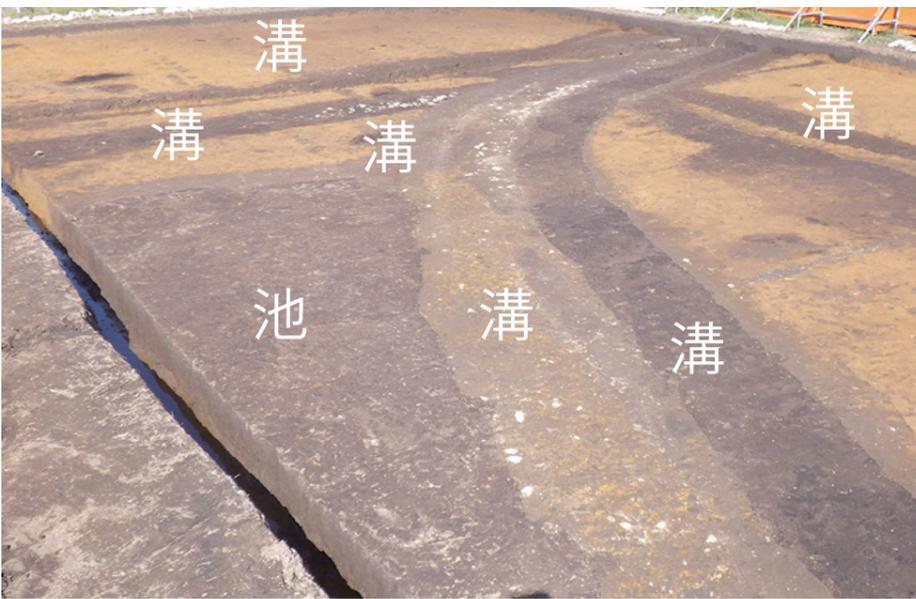
23Ca 区 重なる溝の断面
断面の形状の違いで、他の溝と区別する判断材料になります。



23Ca 区 遺構検出風景
しっかり土を削り、色の違いをはっきりさせます。



23Ca 区 土坑 410SK 遺物出土状況
灰釉陶器などの陶器片が確認されました。



23Ca 区 遺構検出状況
複数の溝や池 (手前の三角形) が確認できます。



23Cb 区 溝 310SD の動物遺体出土状況
牛の歯と思われます。何かしらの祭祀の跡の可能性がります。



23Cb 区 溝と道路の検出状況
色の違いや土質で溝の重なりと道を確認しました。



23Cb 区 木材出土状況
道路状遺構の下層より出土した、導水管の跡と考えられます。